

間違わない補聴器の選び方・着け方 (8)

博士補聴器 代表 由井 宏知

今回は補聴器に欠かせない電池についてお伝えいたします。

四種類のボタンタイプ プ空気亜鉛電池

ほとんどの補聴器はボタン

タイププの空気亜鉛電池を使用し動作します。補聴器の種類によって主に四種類の電池が使われており、それぞれ色と型番で区別され、多くは六粒一パックで販売されています。黄色(10AIPR536) 茶色(312PR41) オレンジ色(13PR48)、青色(675LPR44)に分けら

れており、それぞれサイズが異なりますので、補聴器にあった物をお使いいただく必要があります。

使用期限と長持ちさせるポイント

電池パック裏面には使用推奨期限が記載されており、まずの期限内にお使いください。また、乾燥や二酸化炭素、低温に弱い性質があるため、冬場の石油ストーブを使用した締め切った室内や、乾燥した空気に接しているとき、電池寿命が短くなりますので注意が必要です。なお、新しい電池を使用するときは、表面のシールをはがしてから一分程度置いた後に補聴器に入れていただく安定して使用できます。ただし、一度シールをはがしてしまえば、

シールを貼りなおしても発電が続き、使用しなくてもいづれ電池が無くなってしまいますので、同時にいくつもシールをはがしてしまふのではなく一つ一つ順番にお使いください。

また、多くの補聴器は電池の蓋と電源スイッチが兼用となっておりますので、電池の消耗を防ぐために補聴器を使用しないときはこまめに電池の蓋を開けておくことをお勧めします。

補聴器に電池を入れたまま長期間保管しますと、液漏れを起こすことがありますので、そういった場合は必ず電池を取り出しておきましょう。

ボタン電池を使い終わったら?

自治体によって処分方法は異なりますが、印西市や白井市、船橋市では乾電池の処分方法とは異なり、ボタン電池回収店等で回

収しておりますので、ボタン電池を取り扱う補聴器店や電器店などにお持ちください。なお、電池に含まれる有害物質の漏れや発火を防ぐために、使い終わった電池の両面にセロハンテープを貼るなどして絶縁しうえて保管、お持ち込みいただくことをお勧めいたします。

ポケット型補聴器の電池は?

ポケット型補聴器では、単三もしくは単四電池、充電電池が使われています。

充電式補聴器

ここ最近では充電式の電池を使用した充電式補聴器も登場しています。充電用の電池は交換頻度が1年から5年に1回と低く、電池交換の手間が軽減されます。

誤飲を防ぐために

補聴器本体と電池はペットや小さいお子様の手の届かないところに保存してください。万が一飲み込んだ場合は、すぐに病院で医師の診察を受けてください。

